

一般質問通告書

受領日時 令和7年2月26日 午前・午後 11時00分 8番 氏名 工藤政彦

| 質問項目 | 質問の要旨 |
|--------------------------|---|
| 1 県道4号線の舗装改修について | <p>(1) 県道4号主要地方道能代五城目線(内川地域)の舗装の破損箇所の痛みが更に進み危険な状態となっている。</p> <p>この要望・提言については今回で5回目の一般質問となり5年目になる。町からの回答では県道期成同盟会のみならず、破損状況を県に報告し要望活動を継続し早急に県道4号線の舗装補修を実施するよう要望するとの回答だったが一向に進まない。町当局はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 昨年11月28日に五城目町において県道期成同盟会が開催されたが、県からの報告で県道4号主要地方道能代五城目線の事業主体が県単独事業となっていたが、「主要地方道は広域交通を担うという位置付けから、二つ以上の自治体を經由するもので主要地方道に指定された都道府県道・指定市道は、高速自動車国道や一般国道と一体となって日本の広域交通を担う幹線道路として位置付けられており、整備や維持管理に要する費用の50%までを国が補助することができる。」となっている。</p> <p>なぜ県民の税金を使う県単独事業で行うのか疑問に思い、その県道期成同盟会時に質問し後日回答をいただくことになっていたが、現状どうなっているのかお聞きしたい。</p> |
| 2 除雪作業後の構造物等の破損対応について | <p>(1) 今冬は大雪で除雪作業の回数が例年より多かったと思う。除雪後の構造物の破損等(例えばガードレールや個人のブロック塀)に伴う対応はどの様にしているのかお聞きしたい。</p> |

| | |
|-------------------------|--|
| <p>3 ふるさと納税について</p> | <p>(1) 2月25日の魁新聞のトップ面に2024年度の県内自治体へのふるさと納税の寄付額が12月末時点で過去最高だった一方で五城目町は減少率が最も大きく73.5%減だったと報道があった。</p> <p>記事によると昨年度の大雨被害で多くの寄付が集まった反動によるものだとされているが、寄付額が県内最下位であった。この状況をどう打開しようとしているのか当局の考えを伺いたい。</p> <p>(2) 五城目町の返礼品は地場産のものを重視している様だが、総務省がまとめた地場産品の基準案では、原材料の主要な部分が生産されたものであることや、製造、加工その他の工程のうち主要な部分を行い、相応の付加価値が生じているものであることとあった。</p> <p>返礼品の人気で競い合っって寄付を集めようとする状況は応援したい自治体へ寄付するというふるさと納税の趣旨から逸脱しているとの指摘もあるが、寄付金最下位ということは町に魅力がないとも取られかねないので、返礼品を柔軟性を持った物にする考えもあっても良いのではないかと。</p> |
|-------------------------|--|